

# 令和7年度外来種特別対策事業（アカゲザル等）業務委託 事業実施方針

## 房総半島南端のアカゲザル個体群に関する取組みの経緯

| 年代     | 経緯                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1970年代 | 旧白浜町、館山市においてサルが目撃され始める。                                                                                                                                                                                                                  |
| 1980年代 | —                                                                                                                                                                                                                                        |
| 1990年代 | 千葉県「房総半島の野生猿管理対策調査」の一環として房総半島南部のアカゲザル等の調査が開始される（1994）。<br>外部形態からアカゲザルと推測される（1997）。                                                                                                                                                       |
| 2000年代 | 捕獲個体の血液サンプルを用いたDNA鑑定の結果、アカゲザルと判定された（萩原ら2003）（2002）。<br>大型檻による捕獲が開始される（2003）。<br>千葉県「外来種緊急特別対策事業（アカゲザル）」が開始される（2005）。<br>「特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画」が策定される（2007）。                                                                               |
| 2010年代 | 「特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画」が改定される（2012）。<br>環境省「特定外来生物防除推進調査（ニホンザル交雑個体）業務」により、ニホンザル生息域における交雑状況の把握<br>や交雑判定手法の開発がおこなわれる（2013～2016）。<br>平成26年6月11日施行の改正外来生物法においてアカゲザルとニホンザルの交雑種も特定外来生物に指定される<br>（2014）。<br>「千葉県特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画」が改定される（2016）。 |
| 2020年代 | 「第2次千葉県アカゲザル防除実施計画」が策定される（2021）。                                                                                                                                                                                                         |

## 事業実施方針の内容

### 1. 対策の実施状況

- (1) R6年度 生息状況調査の結果と課題
- (2) R6年度 捕獲の結果と課題

### 2. R7年度事業の方針

- (1) R7年度事業の内容
- (2) 生息状況調査及び捕獲の方針
- (3) 計画及び評価・見直し

#### 1. 対策の実施状況

##### (1) R6年度 生息状況調査の結果

■ 群れ数 : 23群

※不明群は含まない。

⇒増加傾向

■ 推定生息頭数 :

※不明群と調査中の群れを含む。

最小904頭

最大1,098頭 +  $\alpha$

⇒減少傾向

■ 分布域⇒拡大傾向

※2024年度結果より



## (2) 生息状況調査の課題

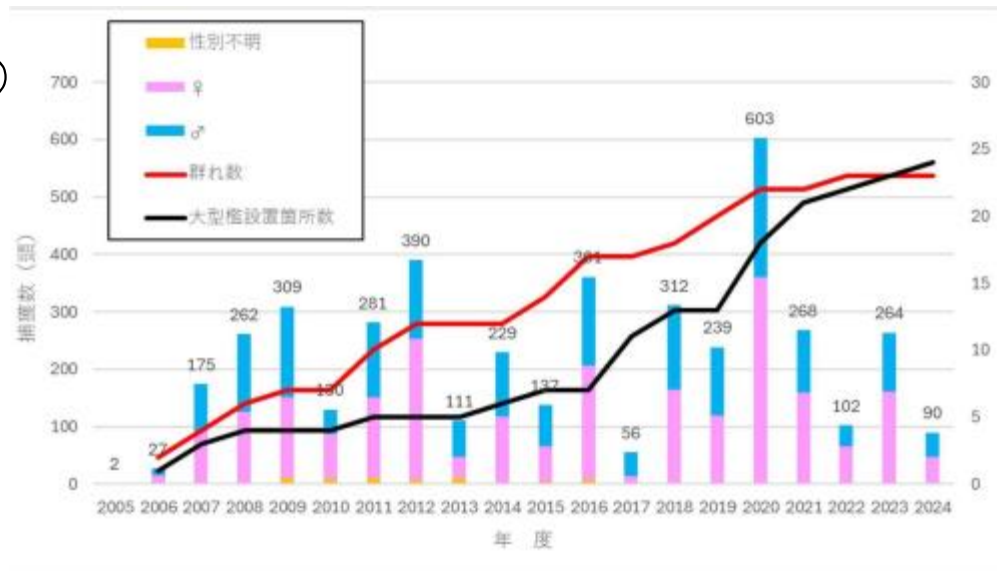
- **個体数の把握が難しい**
    - 山林内に生息する群れ
      - ⇒自動撮影カメラを用いたカウント調査を試行中
    - 生息域内に道路等があり目視する機会がある群れ
      - ⇒調査員によるカウント調査で把握に努める  
(R6は1群の全頭カウントに成功)
  - **継続的な群れの追跡が難しい**
    - 群れの分・合流が頻繁におこる
      - ⇒1つの群れに複数の発信器を装着しモニタリングする
    - 発信器の電池切れ(特に山林内に生息する群れ)
      - ⇒発信器装着のための捕獲を強化する(小型檻の増設)
- ⇒群れ数の増減を正確に捉えられていない可能性がある為、注意が必要。

## (3) R6年度 捕獲の結果

■大型檻の数：29基（24か所）

■2023年度の捕獲実績：89頭  
（うち安楽殺処分84頭）

■2005年度以降の累計  
安楽殺処分数：3,785頭  
総捕獲頭数：4,348頭



### (3) 捕獲の結果 ～捕獲の内訳と評価～

#### ■カンナを含む群れ※所属群が既知か未確認か調査中

推定個体数：不明

捕獲数：26頭

#### ■スゲ群

推定個体数：10～20頭程度

捕獲数：11頭

#### ■スダジイ群

推定個体数：278頭以上

捕獲数：23頭

#### ■タキミ群

推定個体数61～83頭

捕獲数：27頭

#### 部分捕獲により規模縮小

◆カンナを含む群れ：  
フェーズ2（生息状況把握期）

◆スゲ群についてはフェーズ4（群れ根絶直前期）に移行

◆スダジイ群・タキミ群：  
フェーズ3（規模縮小期）を維持

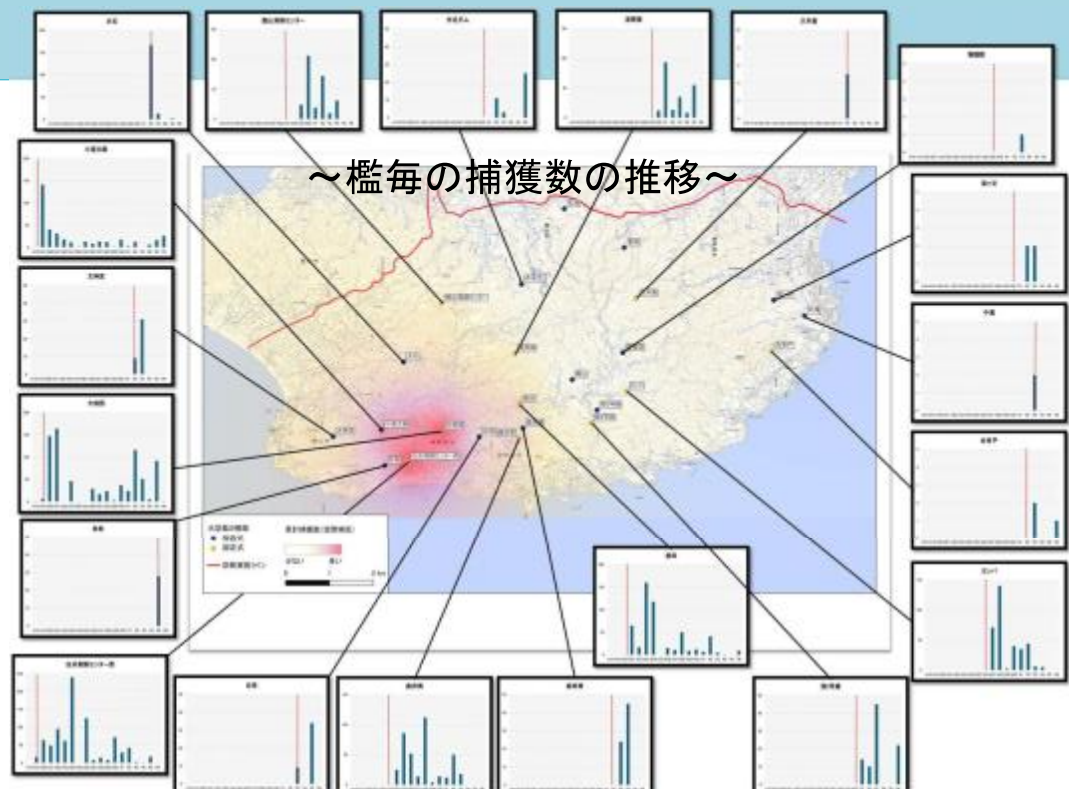


残存個体の動向を注視しながら捕獲を進める。

### (4) 捕獲の結果

◆複数の群れが生息するエリアでは、継続した捕獲が可能

◆1群程度の生息しかないエリアにある檻では、1度大量捕獲した後は継続した捕獲はない



※グラフ上の赤点線は  
檻設置年を示す。



## (5) 捕獲の結果 ～おとり捕獲の結果～

◆取組み内容： **オトナメス**をおとりとして  
一定期間檻に留め置いた



群れの凝集性に関わる存在

(結果)

おとり捕獲を実施した4か所の檻全てで、  
群れ自体を大型檻周辺に停留させることが  
でき、**計54頭**の追加捕獲ができた。



**残存個体が捕獲されなかった要因（考察）**

- 高順位個体が檻内にいることで低順位個体が檻内に入れなかった
- 大型檻内に餌を撒いても、おとり個体が食べてしまい、檻内の魅力が減少した
- アカゲザル等が檻の危険性を学習し、檻に飛び込まなかった
- アカンボウ、コドモが何等かの影響により飛び込めなかった
- トリガーの存在が学習された

## (6) 捕獲の課題

- **山間部での捕獲がなかなか進められない**  
⇒安全管理面に配慮しながら人力で行える場所は積極的に檻設置をしていく。
- **群れの重点利用場所と大型檻の設置場所のズレ**  
⇒群れの行動特性に臨機応変に対応した捕獲体制を整えていく。  
⇒場所によっては群れの行動を檻の場所に近づける（馴化の強化）をおこなう。
- **群れ捕獲（全頭捕獲）に必要な事前情報の不足**  
⇒群れの頭数、重点利用場所、群れの特性（性・年齢クラス構成）などの情報を可能な限りモニタリングしていく。
- **餌の選択肢が少ない**  
⇒餌の種類を更に増やす試行を継続していく。
- **土地の地目制限や地権者承諾が得られない場合があり檻を設置できない**  
⇒実施可能な範囲で丁寧に進めていく。

## 事業実施方針の内容

### 1. 対策の実施状況

- (1) R6年度 生息状況調査の結果と課題
- (2) R6年度 捕獲の結果と課題

### 2. R7年度事業の方針

- (1) R7年度事業の内容
- (2) 生息状況調査及び捕獲の方針
- (3) 計画及び評価・見直し

## 2. 令和7年度事業方針

### (1) 令和7年度事業の内容

#### 生息状況調査

- 群れの追跡調査
- GPSテレメトリー調査
- 個体数カウント調査
- 群れ根絶確認

#### 捕 獲

- 大型檻捕獲：29基（根絶対策）
- 小型檻捕獲（発信器装着）
- 遠隔操作機器の導入
- おとり用サルを用いた捕獲
- 大型檻の新規導入：2基・移設：2基

#### 計 画

- 第2次千葉県アカゲザル防除実施計画の改定
- 事業実施方針の作成
- ロードマップの作成

#### 評価・見直し

- 調査や捕獲にかかるデータの解析
- 有識者ヒアリング（事業評価）

## 生息状況調査

発信器により得られた行動データを用いて群れの分布や各群れの行動域、移動経路等の行動特性を把握することを目的として実施する。

### ①群れの追跡調査

■方法：ラジオテレメトリー法

■対象群れ

- ・令和6年度調査対象であった21群
- ・新たに確認され・発信器が装着される群れ

■実施回数

- ・6～8月、11～2月：月2回
- ・4・5・9・10月：月1回

### ②GPSテレメトリー調査

■用いるGPS発信器の設定

- ・6:00-18:00は1時間1点、0:00に1点、1日計14点の測位

■実施回数

- ・3カ月に1回程度

■データダウンロード

- ・専用機器を用いて遠隔操作によりGPS発信器本体から蓄積された測位データを取得

## 生息状況調査

### ③ 個体数カウント調査

■方針

- ①調査員カウント調査
  - ②自動撮影カメラカウント調査
- ➡ 両調査の対象群れを同一とし、結果を比較

■対象とする群れ

- ・カンナ群（残存個体数調査中）
- ・ツツジ群（推定：19頭以上）
- ・アスナロ群（推定：40～50頭程度）

### ④ 群れ根絶確認

■方針

- 10頭近くになっている群れに対しカメラ調査を実施
- ➡ 根絶を確認するための手法を検証

■対象とする群れ

- ・ウルシ群（GPS首輪1頭、VHF1頭）

■選定理由

- R1年度以降に捕獲が進んだことで行動圏の縮小が確認
- 捕獲後の評価が十分にできていない

## 捕 獲

防除計画に基づき、アカゲザル及びアカゲザルとニホンザルの交雑種を野外から速やかに除去することを目的とした捕獲を行う。

### ■大型檻：既存29基、新規2基

- アカゲザル等を野外から速やかに除去することを目的とし、群れの根絶（大きい群れは規模縮小）捕獲を行う。
- オトナメスをおとりにし、残存個体の追加捕獲を試みる。
- 誘引餌のバリエーションを増やし、誘引を強化する。
- 檻の遠隔操作が可能なICT機器を利用し、捕獲の効果・効率の向上を図る。

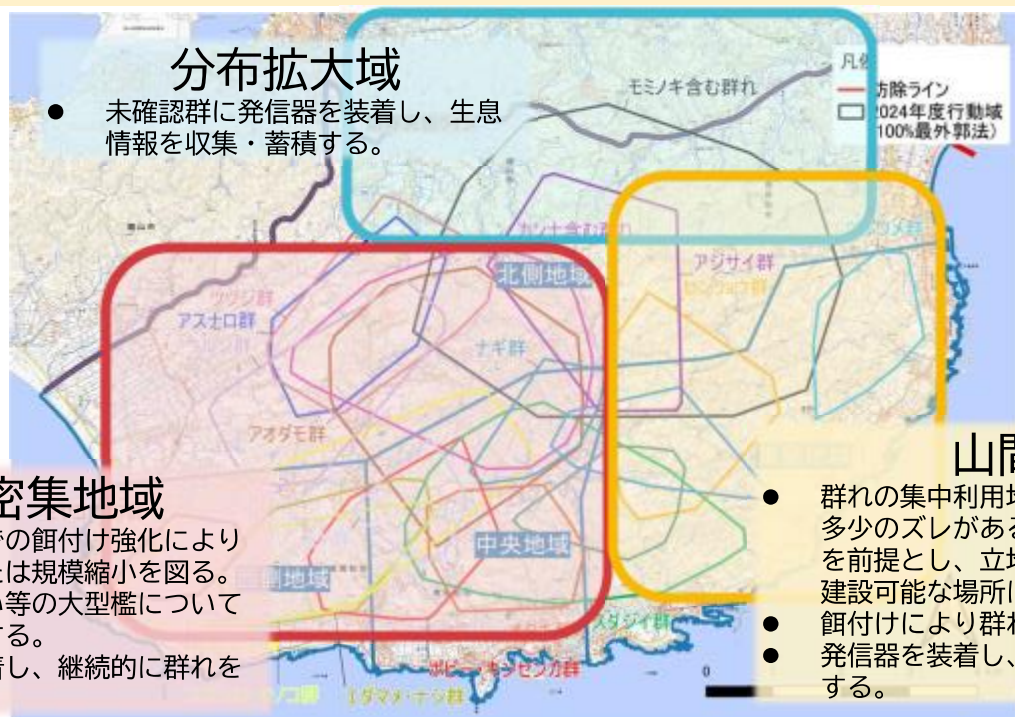
### ■小型檻：15基+α

- 電波発信器を用いたアカゲザル等の継続的な行動特性調査を行い、効果的な捕獲に資する情報を収集するための捕獲を行う。
- 防除実施ラインの北側まで対象エリアを拡大し、檻設置基数を増やし、分布最前線の群れへの発信器装着を強化する。

### ■麻酔銃：

- ワナに対する警戒心が高い群れを対象に、発信器装着を目的として捕獲を試みる。
- 大型檻・小型檻での捕獲が難航した場合の次に有効な選択肢とする。

## 捕 獲





捕 獲

遠隔操作機器の導入

- ICT機器の活用：
- 1. 各檻1～2基の自動撮影カメラ（ハイクカム）を用いてモニタリングを行う。
  - 2. 稼働予定の檻に遠隔操作機器（まるみえホカクン）を設置し、檻の稼働、群れの特特定、残存個体の確認等のために活用する。



おとり捕獲

オトナメスをおとりにし、残存個体の追加捕獲を試みる。



VHF及びGPS発信器の装着候補群

- 対象
- ・ 早急に対応が必要な発信なしの群れ6群
  - ・ 電池寿命予定を2年以上過ぎているウルシ群、センリョウ群
  - ・ 電池寿命予定オーバーの群れも大型檻で捕獲があれば随時装着する。

| 電池寿命予定オーバー                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 発信なし                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ センリョウ群 2022/12 GPS</li><li>・ ウルシ群 2023/8 GPS</li><li>・ ミヤコクワ群 2023/8 GPS</li><li>・ アジサイ群 2023/8 LT</li><li>・ アスナロ群 2023/7 GPS</li><li>・ オタキ群 2023/12 LT・GPS</li><li>・ ヨモギ群 2024/1 GPS</li><li>・ ツルウメ群 2023/7 GPS</li><li>・ エダマメナシ群 2024/8 LT・GPS</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ コンブ群</li><li>・ ツバキ群(モミノキを含む群れ?)</li><li>・ モウセンゴケ群</li><li>・ ナギ群</li><li>・ メヒシバ群</li><li>・ ポプラ群</li></ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ アリドオシ群(現時点で存在するか不明)</li></ul> |

※継続追跡ができていない群れ：ウルシ群、アオダモ群、ヒメオウギ群、スズシロ・キノコ群、ポピー・キンセンカ群

## 大型檻の新規導入

### ■導入箇所と基数

- ・ 2基を連結し、1箇所に建設する

### ■檻の種類

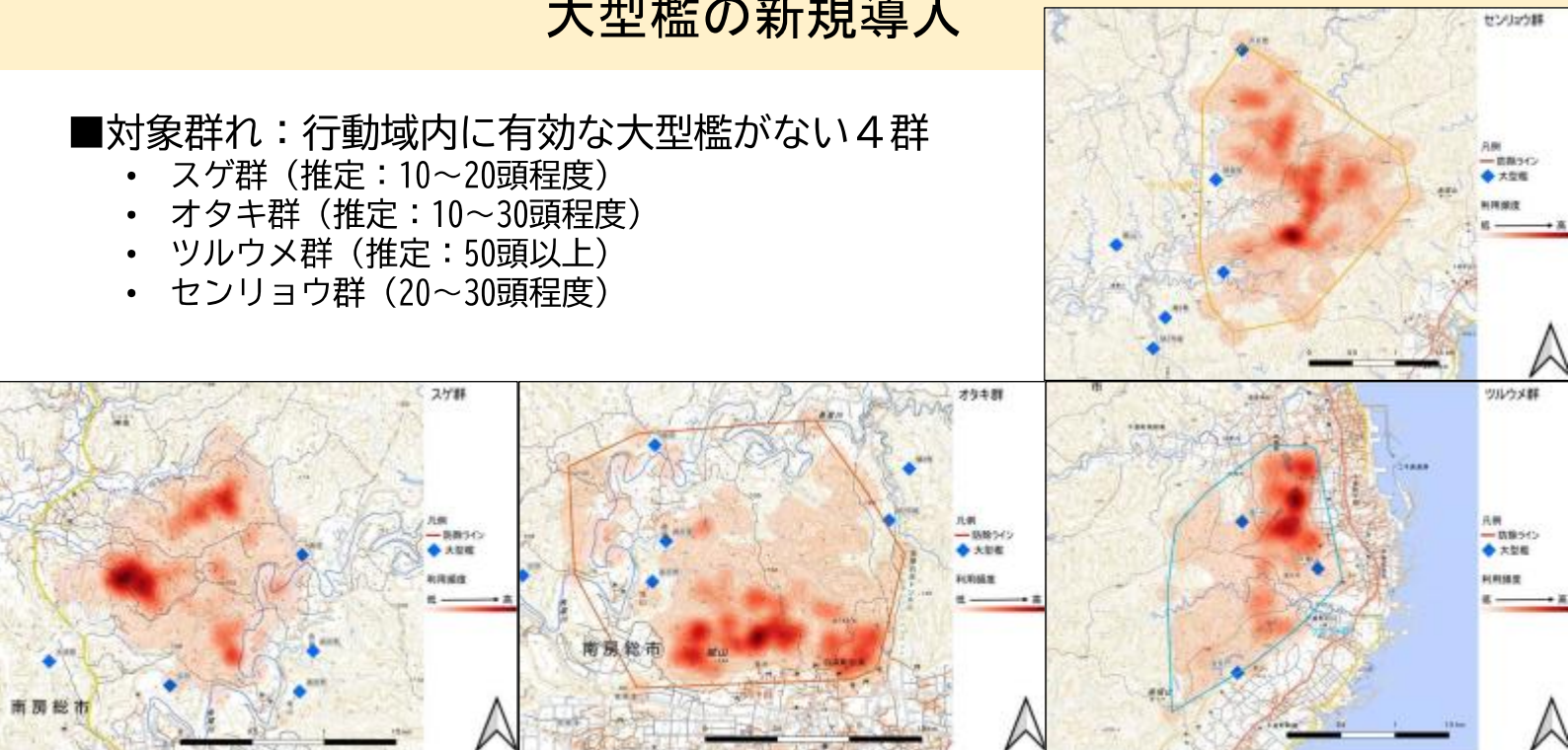
- ・ 竹森鐵工製 サークル及びサークルM2



## 大型檻の新規導入

### ■対象群れ：行動域内に有効な大型檻がない4群

- ・ スゲ群 (推定：10～20頭程度)
- ・ オタキ群 (推定：10～30頭程度)
- ・ ツルウメ群 (推定：50頭以上)
- ・ センリョウ群 (20～30頭程度)



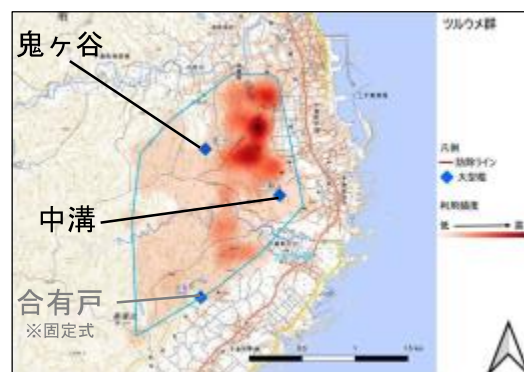
## 大型檻の移設

### ■対象の檻：

(候補理由1) 群れの利用頻度が低い檻

(候補理由2) 地権者の変更により継続運用が困難

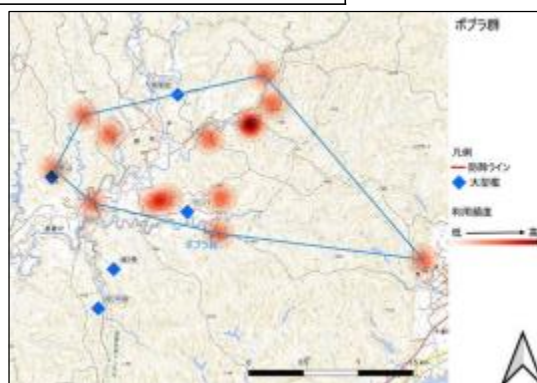
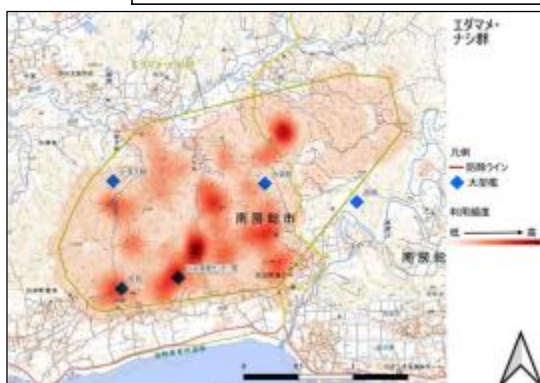
| 檻名   | 建設年度 | 選定理由                                       |
|------|------|--------------------------------------------|
| 小塚大師 | H18  | 令和5年度中に土地所有者が代わり、新たな所有者より撤去の申し出があった。       |
| 大神宮  | R2   | 近年、檻の隣に建造物が建ちヒトの活動が増加し、来訪頻度が極めて低い状態が続く。    |
| 中溝   | R3   | ツルウメ群を対象として当時建設されたが、捕獲実績が2頭のみで来訪率も低い状況が続く。 |
| 鬼ヶ谷  | H29  | ツルウメ群を対象として当時建設されたが、捕獲実績が4頭のみで来訪率も低い状況が続く。 |



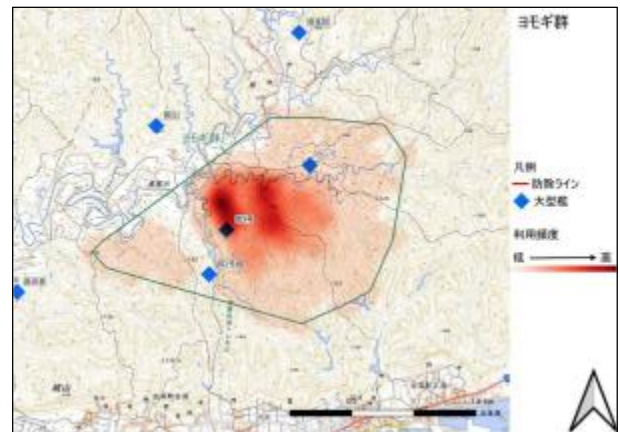
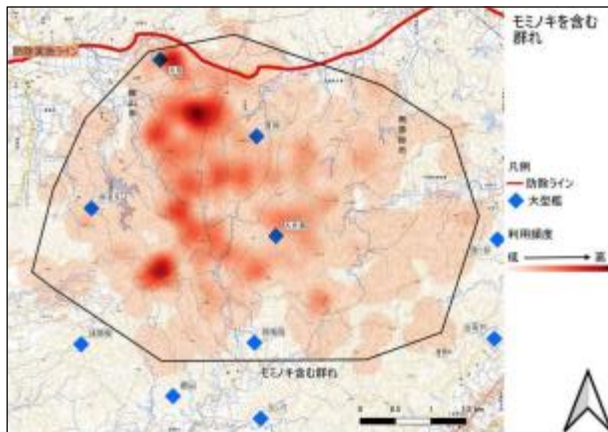
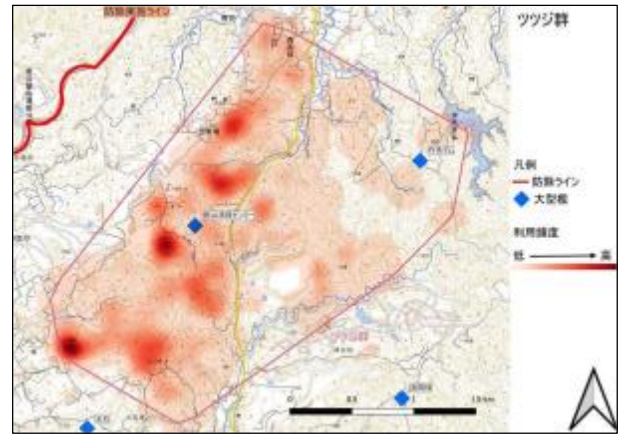
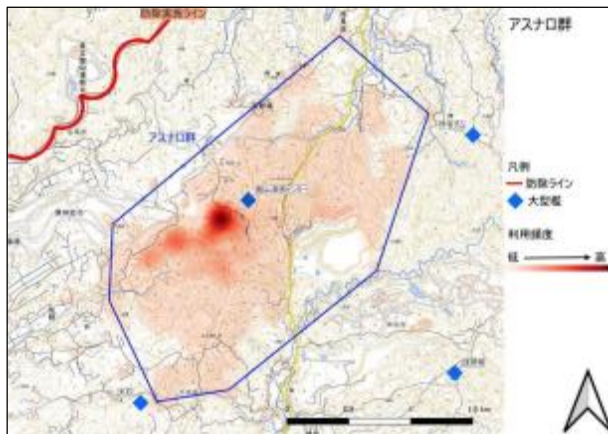
## 餌付けの強化とおとり捕獲により捕獲を行う群れ

### ■R6年度中に大型檻への来訪が定期的に見られた群れ

| 群れ名             | 檻名           |
|-----------------|--------------|
| エダマメ・ナシ群        | 白浜清掃センター西/砂取 |
| ポプラ群            | カンバ          |
| アスナロ群/ツツジ群      | 館山清掃センター     |
| モミノキを含む群れ(ツバキ群) | 丸塚           |
| ヨモギ群            | 畑3号線         |







## 2. 令和7年度事業方針

### (3) 計画及び評価・見直し

#### 生息状況調査



#### 捕獲



#### 計画

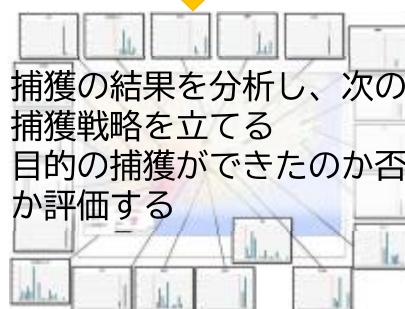


目標達成の道筋を明確にし、効率的かつ効果的な対策を進めるための計画を立てる。

- 効果的・効率的な捕獲に必要なデータを収集・蓄積
- 得られたデータを分析し、捕獲に活かす



- 捕獲の結果を分析し、次の捕獲戦略を立てる
- 目的の捕獲ができたのか否か評価する



#### 第2次千葉県アカゲザル防除実施計画

ロードマップの作成

事業実施方針の作成

※別紙１：檻ごとの捕獲方針

・ 対策実施の優先度：橙色＞薄黄色＞白

| 大型檻       | 建設年度 | 種類          | 捕獲できる群れ<br>※太字は特に来訪頻度が高い群れを示す。                             | 檻への群れ<br>来訪頻度 | 運用方針       |
|-----------|------|-------------|------------------------------------------------------------|---------------|------------|
| 小塚大師      | 2006 | サークルM＋M2    | ミヤコ・クワ群、 <b>ヒメオウギ群</b> 、エダマメ・ナシ群、タキミ群、スズシロ・キノコ群、（コン<br>ブ群） | 中～高           | 移設検討       |
| 白浜清掃センター西 | 2007 | 60m固定式      | <b>ヒメオウギ群</b> 、 <b>エダマメ・ナシ群</b> 、スズシロ・キノコ群、（コンブ群、タキミ群）     | 中             | 高頻度運用      |
| 大畑西       | 2007 | 60m固定式      | スズシロ・キノコ群、エダマメ・ナシ群、ヒメオウギ群、ボビー・キンセンカ群                       | 低             | 低頻度運用      |
| 曲田        | 2008 | 60m固定式      | スゲ群、スダジイ群、（ボビー・キンセンカ群）                                     | 低             | 中頻度運用      |
| 曲田南       | 2011 | 60m固定式      | スダジイ群、ボビー・キンセンカ群                                           | 低             | 低頻度運用      |
| カンパ       | 2014 | 60m固定式      | <b>ボブラ群</b> 、ヨモギ群、センリョウ群、スダジイ群                             | 低～中           | 高頻度運用      |
| 館山清掃センター  | 2015 | 60m固定式      | <b>アスナロ群</b> 、 <b>ツツジ群</b>                                 | 低             | 高頻度運用      |
| 浅間様       | 2017 | 60m固定式      | <b>アオダモ群</b> 、カンナを含む群れ                                     | 低             | 中頻度運用      |
| 殿山        | 2017 | 薬おりBig5×5m  | アオダモ群、（ナギ群）                                                | 低             | 低頻度運用      |
| 瑞龍院       | 2017 | 薬おりBig12×8m | アジサイ群                                                      | 低             | 中頻度運用      |
| 鬼ヶ谷       | 2017 | 薬おりBig5×5m  | ツルウメ群                                                      | 低             | 移設検討       |
| 作名ダム      | 2018 | サークルM＋M2    | アオダモ群、モミノキを含む群れ、 <b>カンナを含む群れ</b> 、ツツジ群                     | 中             | 中頻度運用      |
| 畑2号線      | 2018 | 60m固定式      | ヨモギ群、スダジイ群、ボブラ群                                            | 低             | 低頻度運用      |
| 犬石        | 2020 | サークルM       | ウルシ群                                                       | 低             | 中頻度運用      |
| 大神宮       | 2020 | サークルM       | ミヤコ・クワ群、ヒメオウギ群、（コンブ群、タキミ群）                                 | 低             | 移設検討       |
| 曲田東       | 2020 | サークルM＋M2    | スダジイ群、オタキ群、ボビー・キンセンカ群                                      | 低             | 低頻度運用      |
| 大井倉       | 2020 | 60m固定式      | アジサイ群、モミノキを含む群れ（ツバキ群）                                      | 低             | 低頻度運用      |
| 合有戸       | 2020 | 40m固定式      | ツルウメ群                                                      | 低             | 低頻度運用      |
| 谷田        | 2021 | サークルM       | ボビー・キンセンカ群                                                 | 低～中           | 増設検討       |
| 菅田        | 2021 | サークルM       | アジサイ群、モミノキを含む群れ（ツバキ群）                                      | 低             | 移設検討       |
| 中溝        | 2021 | サークルM       | ツルウメ群                                                      | 低             | 低頻度運用/移設検討 |
| 丸塚        | 2022 | サークルM       | モミノキを含む群れ（ツバキ群）                                            | 低～中           | 高頻度運用      |
| 砂取        | 2023 | サークルM＋M2    | <b>エダマメ・ナシ群</b> 、ヒメオウギ群、スズシロ・キノコ群                          | 中～高           | 高頻度運用      |
| 畑3号線      | 2024 | サークルM＋M2    | <b>ヨモギ群</b> 、スダジイ群                                         | 中～高           | 高頻度運用      |

※別紙２：群れごとの捕獲方針

黄：まずは発信器装着が必須の群れ  
橙：餌付け強化により既存檻で群れ捕獲を行う群れ  
青：大型檻を新規導入したい群れ

| 地域<br>区分  | 群れ名        | 推定頭数      | 通算安楽殺処<br>置頭数 | 2024年度末時<br>点のフェーズ | 2025年度<br>取組み方針                 |                | 2025年度<br>新規発信器装着台数<br>（GPS14台、VHF5台） | 発信器装着状況<br>（2024年度末時点） |
|-----------|------------|-----------|---------------|--------------------|---------------------------------|----------------|---------------------------------------|------------------------|
|           |            |           |               |                    | 取組み内容                           | 対象となる檻         |                                       |                        |
| 北側        | ウルシ群       | 10～20頭程度  | 510頭          | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れ捕獲の実施             | 犬石             | GPS:1台                                | GPS:1台、VHF:1台          |
|           | アスナロ群      | 40～50頭程度  | 77頭           | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れの規模把握             | 館山清掃センター       | GPS:1台                                | GPS:1台、VHF:1台          |
|           | ツツジ群       | 19頭以上     | 0頭            | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れの規模把握             | 小型檻または館山清掃センター | GPS:1台                                | GPS:1台、VHF:1台          |
|           | ナギ群        | 40～50頭程度  | 11頭           | フェーズ2・3            | 発信器装着のための捕獲                     | 小型檻            | GPS:1台                                | 電池切れ                   |
|           | ツバキ群       | 20～100頭以上 | 0頭            | フェーズ2              | 発信器装着のための捕獲                     | 小型檻            | GPS:1台、VHF: 1                         | 電池切れ                   |
|           | モミノキを含む群れ  | 50頭程度     | 0頭            | フェーズ2              | 発信器装着のための捕獲                     | 小型檻または丸塚       | GPS:1台                                | 発信器脱落                  |
|           | アオダモ群      | 19頭以上     | 59頭           | フェーズ3              | 群れの規模把握                         | 浅間様            | VHF:1台                                | GPS:1台、VHF:1台          |
| 西側        | カンナを含む群れ   | 調査中       | 25頭           | フェーズ3              | 群れの規模把握                         | 作名ダム           | GPS:1台                                | GPS:1台(発信のみ)           |
|           | ミヤコ・クワ群    | 10～20頭程度  | 334頭          | フェーズ3・4            | 発信器装着のための捕獲/群れ規模把握              | 小塚大師           | GPS:1台                                | GPS:1台、VHF:1台          |
|           | エダマメ・ナシ群   | 68頭       | 280頭          | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れ捕獲の実施             | 砂取または白浜清掃センター西 | GPS:1台                                | GPS:1台、VHF:1台          |
|           | ヒメオウギ群     | 57～61頭    | 197頭          | フェーズ3              | 群れの規模把握                         | 小塚大師           | なし(2023年度装着)                          | GPS:2台、VHF:1台          |
|           | コンブ群       | 10～30頭    | 5頭            | フェーズ2              | 発信器装着のための捕獲                     | 小型檻            | GPS:1台                                | 電池切れ                   |
|           | タキミ群       | 56頭程度     | 53頭           | フェーズ3              | 群れ規模把握                          | 小塚大師           | VHF:1台                                | GPS:1台                 |
|           | スズシロ・キノコ群  | 26頭程度     | 188頭          | フェーズ3              | 群れ規模把握                          | 白浜清掃センター西      | VHF:1台                                | GPS:1台                 |
| 中央        | スゲ群        | 10～20頭程度  | 9～31頭         | フェーズ3              | 群れの規模把握/群れ捕獲の実施                 | なし             | GPS:1台                                | GPS:1台、VHF:1台          |
|           | オタキ群       | 10～30頭程度  | 772～1,051頭    | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れの規模把握             | なし             | なし(2024年度装着)                          | GPS:1台、VHF:1台          |
|           | アリドオン群     | 不明        | 127頭          | フェーズ1              | 存在の確認/発信器装着のための捕獲               | 小型檻            | 不明群と同様                                |                        |
|           | ボビー・キンセンカ群 | 50頭程度     | 62頭           | フェーズ3              | 群れの規模把握/群れ捕獲の実施                 | 谷田             | なし(2023年度装着済み)                        | GPS:1台、VHF:1台          |
|           | モウセンゴケ群    | 不明        | 10頭           | フェーズ2              | 発信器装着のための捕獲                     | 小型檻            | 不明群と同様                                | 電池切れ                   |
|           | スダジイ群      | 278頭以上    | 152～181頭      | フェーズ3              | 群れの規模把握/群れ捕獲の実施                 | 畑2号線           | VHF:1台                                | GPS:2台                 |
|           | メヒシバ群      | 不明        | —             | フェーズ1              | 発信器装着のための捕獲                     | 小型檻            | 不明群と同様                                | 電池切れ                   |
| 東側        | ボブラ群       | 不明        | —             | フェーズ1・2            | 発信器装着のための捕獲                     | 小型檻または殿山       | 不明群と同様                                | 電池切れ                   |
|           | アジサイ群      | 50～60頭程度  | 59頭           | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れの規模把握             | 小型檻または瑞龍院      | GPS:1台                                | GPS:1台(分派中)、VHF:1台     |
|           | ヨモギ群       | 11頭以上     | 32～38頭        | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れの規模把握<br>/群れ捕獲の実施 | 畑3号線           | GPS:1台                                | GPS:1台                 |
|           | センリョウ群     | 20～30頭程度  | 201頭          | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れの規模把握             | 小型檻            | GPS:1台                                | GPS:1台                 |
|           | ツルウメ群      | 50頭以上     | 3頭            | フェーズ3              | 発信器装着のための捕獲/群れの規模把握             | 小型檻            | GPS:1台                                | GPS:1台                 |
| 不明群（1群以上） | —          | —         | 286頭          | フェーズ1              | 存在の把握とGPS発信器の装着                 | 小型檻            | GPS:1群につき1台                           | 2024年度8月時点で1群装着        |

※GPSの装着が優先、その後VHFの装着